

県政に関する質問から(本会議の質問・答弁)

本会議では、6日間にわたって16人の議員が代表・一般質問を行い、県政が直面する課題について、県民の視点に立った議論を展開しました。QRコードをスマートフォンやタブレットなどで読み取ると、各議員の全ての質問の動画を視聴できます。

2月20日 代表質問(要旨)



自民議連
吉井 清介 議員
(尾道市)

若者減少対策

問 令和6年の社会減が約2300人となった本県の厳しい状況をどう受け止め、その対策にどう取り組み、今後の息の長い取組を展開するのか。

答 若年層の転出超過が大半を占める本県の社会動態への対策は喫緊の課題であり、令和7年度は、若者が自身の志向に応じた仕事や学びを広島で選択できるよう、県内企業や大学等の認知向上の後押しや魅力的な企業の集積などを柱に取組を推進する。また、これらの対策に市町や産業界等とオール広島で継続的に取り組み、若者の定着・回帰を促し、持続可能な広島の未来を切り開いていく。

その他の質問項目

- 高度医療・人材育成拠点
- 社会資本整備
- 県政運営を支える財政基盤の確保
- 被爆・終戦80年における平和の取組
- 物価高対策
- 人手不足対策 など



2月21日 代表質問(要旨)



民主県政会
西本 博之 議員
(東広島市)

県立病院の経営

問 令和6年度の県立病院の収支見込みは結果的に赤字となり、4月から運営を担う新法人の経営に不安があるが、県立病院の経営状況や経営分析方法の課題等と併せ、建設費高騰等による新病院の変更計画案で本県が目指す医療の実現は可能なのか、所見を伺う。

答 県立病院は患者数がコロナ禍前の水準に回復せず、経営に関する人材育成等も不十分だったため、新法人では外部人材の登用を含めた体制強化を図り、安定的な病院経営を行う。また、変更計画案は、新病院が果たすべき役割や医療機能を損なわないことを大前提に検討を進める。

その他の質問項目

- 2024年度の事業評価及び2025年度の予算編成方針
- 社会環境の変化を踏まえた教育等
- ひろしまビジョンへの出生率の目標設定と今後の取組
- 若者の職場定着に向けた取組
- 県内の避難場所
- 被爆・終戦80年の取組 など



2月21日 一般質問(要旨)



公明党
石津 正啓 議員
(福山市)

被爆80年における県の取組

問 今年は、被爆地広島の結果として役割が改めて問われる年であり、世界的に著名な機関等と連携した取組を強化し、核兵器廃絶や平和に向けたメッセージの発信と機運醸成につなげる必要があるが、所見を伺う。

答 本県では、世界的に影響力のあるリーダー等と連携したビジネスフォーラムの開催や核兵器廃絶等を旨とする世界の科学者が広島に集うパグウォッシュ会議世界大会の運営支援等を行う。また、国際的に著名なシンクタンク等と連携した人材育成に取り組み、力強い平和のメッセージを世界に発信し、核兵器廃絶の機運醸成につなげる。

その他の質問項目

- 米国大統領の被爆地訪問
- 中小企業への物価高支援の強化
- ヤングケアラー支援
- 県立病院の経営及び新病院の整備
- 下水道管の老朽化対策
- 地元企業との連携によるキャリア教育の充実 など



2月21日 一般質問(要旨)



自民議連
八幡原 圭 議員
(三原市・世羅郡)

障害者の活躍を後押しする農福連携の推進

問 農福連携は、農業分野の労働力確保による農業経営の安定化や、障害者の働く場の確保や賃金向上が期待されるが、企業の参入ハードルが高く、制度の改善等が必要であり、本県の取組の効果や課題を踏まえ、今後どう取り組むのか伺う。

答 県では、農業生産者と障害福祉事務所のマッチング支援事業等により受注実績を増やしてきたが、農作業での安全確保等に不安があり参入に踏み出しにくいとの声もある。今後は、県への支援ニーズの把握や他県の先進事例等の情報発信等を進め、障害者が活躍し輝ける共生社会の実現に取り組む。

その他の質問項目

- 農業の大規模経営化
- 地域農業の未来設計図である地域計画
- 地方への人の流れを創出・拡大する二地域居住
- 効果的・効率的な空き家対策の推進
- 空き家や空き地などを区画再編するランドバンク事業の加速化
- ひきこもり支援の強化 など



2月25日 一般質問(要旨)



民主県政会
柿本 忠則 議員
(広島市東区)

子育てに優しい生活環境の整備

問 子育てを社会全体で応援する気運は大事であり、運転免許センターへの**こどもファスト・トラック**の設置や県有施設で搾乳目的でも授乳室を利用しやすくなる表記等、子育てに優しい生活環境整備を行うべきではないか。

答 県民が子育てに優しい県だと実感するためには、子育て家庭が外出しやすい配慮等が重要であり、運転免許センターでは、本年1月から、支援が必要な方の申出により優先的に手続を行う取組の案内ポスターを掲示した。また、搾乳目的でも授乳室が利用できる旨の案内表示は、県有施設に限らず広く働きかける。

その他の質問項目

- 公共交通への財政支援の考え方
- 芸備線再構築協議会における議論
- 新病院開業に向けた人員確保計画
- 奨学金返済支援
- 私立高校の入学金の先取り
- 公金収納のキャッシュレス化 など



2月25日 一般質問(要旨)



広志会
井原 修 議員
(東広島市)

新病院における救急医療体制

問 新病院は、統合するJ R広島病院や中電病院が担っていた救急医療機能に加え、小児救急医療拠点病院に指定されている舟入市民病院の小児診療機能を集約するが、救急患者を全て受け入れられるのか伺う。

答 新病院が広島市消防局管内の年間3千件を超える救急搬送困難事案の解消に貢献するためには、年間1万件を超える症例に対応する必要がある。全国トップレベルの病院を参考に体制を構築する。小児救急医療は、1次から3次までの小児救急に対応し、中国地方初のER機能を併設した小児救命救急センターを整備し対応する。

その他の質問項目

- 新病院の建築費高騰への対応
- 新病院の駐車場整備
- 転出超過対策
- 広島県産品の現状認識
- 東広島市域の道路整備 など



2月26日 一般質問(要旨)



自民議連
岡野 齊也 議員
(尾道市)

県内農林水産物のブランド力の強化

問 生産者の所得向上を力強く発展させるためには、県内農林水産物のブランド力強化が必要であり、おいしい!広島の取組で、どう広島の食の魅力を県内にあふれさせ全国に発信するのか。

答 ブランド強化には、県民が広島の食を誇りに思い、県外の方に勧め、全国で共感されることが必要であり、地域の食材等を生かした料理等を磨き上げ、気軽に体験できるような取組を。また、世界パラ会議等の機会を逃さず、食に関心の高い層へのプロモーションを展開し、食を目的とした観光客が広島に訪れる好循環を創出する。

その他の質問項目

- 地域医療を担う拠点病院へのアクセス道路の整備促進
- 子育ての定着
- 平成の大合併により衰退した周辺地域の活性化
- 民生委員の担い手確保
- 小中高生の自殺対策
- ICT教育の充実に向けた基盤整備 など



2月26日 一般質問(要旨)



自民議連
灰岡 香奈 議員
(広島市安佐南区)

避難行動につながる防災情報の把握・発信

問 県民の適切な判断による避難行動につながるため、様々な観測データの把握や災害リスク分析、県民への避難情報等のきめ細かな発信に今後どう取り組むのか。

答 適切な避難行動の実践には、災害時に防災気象情報を確実・迅速に把握し、分かりやすく発信することが重要であり、防災WEBにより気象情報等を集約し公開している。今後、次期防災WEBでは、各サイトで収集していた情報を一元的に表示し、情報把握機能の強化を図り、LINE版マイタイムラインには避難所開設情報等を居住地に絞り込んで表示する機能を追加する。

その他の質問項目

- 砂防堰堤整備等の加速化
- 森林資源の循環利用に向けた再造林の推進
- 林業における新技術の活用
- 警察本部における不適切事務の再発防止
- 女性の活躍に向けた環境整備
- 妊娠期の健康支援 など

